



発行所 (一社)福島県電設業協会 発行人大槻博太 〒960-8114 福島市松浪町9-6 (福島県電設会館) TEL (024) 533-6226 FAX (024) 533-6235 E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp 編集印刷 福島建設工業新聞社 福島市西中央2-59

県土木部意見交換

総合設備協会で課題検討

インターンシップ事業 教員との意見交換を目指す



令和5年度事業計画決定

当協会は3月20日、福島市の協会大会議室で令和4年度第3回理事会を開き、令和5年度事業計画を決定した。インターンシップ支援事業の充実強化に向けて、高校の電気科教員や進路担当教員との意見交換会実現を目指すほか、建築BIMに関する研修会開催も検討する。総合設備協会の枠組みで昨年開催した県土木部との意見交換会は、実効性を高めるため、総合設備協会傘下の3団体が設計・施工の課題を整理して改善を検討し、県との意見交換へ繋ぐ。

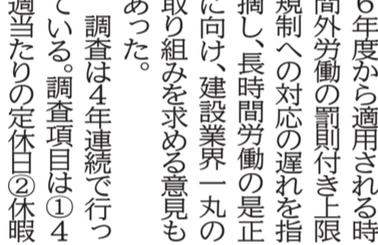
令和5年度は人材育成 技術の習得・普及を図る事業を中心に、建設DXとともに、発注機関とのデジタル技術やBIM等 意見交換などを通じて成

当協会員 休日確保の動き進む

県産産連 適正な建設システム調査

県建設産産連団体連合会 (県産産連) は1月31日、福島市の県建設センターで「適正な建設生産システム構築並びに担い手確保に向けての懇談会」を写真IIを開き、当協会を含む県産産連加盟8団体の会員を対象に行った建設生産システムに関する

令和4年度アンケート調査結果を基に、担い手確保や働き方改革の課題について意見を交わした。当協会から永井博副会長、長野内忠宏専務理事が出席した。調査結果によると、休日数は全体では増加傾向にあるものの、調査を開



出席者からは今後、コロナ終息に伴い民間の設備投資が回復した場合、現状でも休日確保が困難

な民間工事で働き方改革が推進できるか懸念の声が上がり、施工主を含めた意識改革や職人の労務費アップの必要性などが意見として出された。令和6年度から適用される時間外労働の罰則付き上限規制への対応の遅れを指摘し、長時間労働の是正に向け、建設業界一丸の取り組みを求める意見もあった。調査は4年連続で行っている。調査項目は①4週当たりの定休日②休暇

果物の品質確保やより良い受発注環境の整備に努める。引き続き「総務」技術安全「広報」の3委員会体制で事業を実施する。

インターンシップ支援事業は、一部の支部で実施していたものを平成25年度に協会の公益活動として全県下に拡大。高校生や専門学校生の職業体験学習に協力すること、電気設備工事業に対する理解促進や興味を持つってもらう、きっかけとしている。昨年度に新たに2校を受け入れた。本格導入から10年が経過し、より効果的な事業とするため、学校側との懇談の場を設け、キャリアコラムなどの改善につなげる。県内企業への就職率を向上させる参考にもしたいと考え、学校側との調整を進め、3校程度での実施を目指す。

技術力アップに向けた取り組みでは、当協会継続教育事業(CPD)と建設教育事業(CPD)と連

設業振興基金CPD制度の本格的な活用を図りながら、各種研修・講習会を実施する。Master制度勉強会は引き続き、1級電気工事施工管理技士の試験対策を実施する

とともに、1級電気通信工事施工管理技士の資格取得に向けた講習を検討する。

BIMに関する研修や県管轄設備担当者との合同技術研修会(仮称)の開催も検討。一部支部で実施している県出先機関管

理担当者との懇談会、全県拡大に向け、今年度2事務所程度での開催を目指す。

県土木部との意見交換会は当協会と県空調衛生工業事業協会が出席し、令和4年度に初めて開催した。現場の課題改善には設計段階での対応も必要になることから、今年度は意見交換に県設備設計事務所協会も参加予定。3団体で事前に課題等に対する認識を共有し懇談

に臨む予定。総務委員会ではこのほか、建設キャリアアップシステムの普及や働き方改革の推進に取り組むとともに、各会員によるBCP(事業継続計画)策定の検討に取り組む。平準化や分離発注、地元企業活用、県入札制度などの要望活動も引き続き行う。技術・安全委員会は現場研修会や安全大会、技術研修会(県総合設備協

会主催)を予定。広報委員会は女性トークサロンの開催を計画している。

理事会には14人が出席した。大槻博太会長がいさづいた後、令和5年度事業計画・収支予算案を協議した。第73回定時総会は5月31日に開催する。理事会に先立ち、今年度第5回正副会長総務委員会、同第2回技術・安全委員会、同第2回広報委

員会を開いた。

鳥市の協会談話室で令和4年度第4回合同会議II写真IIを開いた。

大槻博太会長、永井博、小宅武副会長、車田昭

副委員長、渡部昌彦相双支部長、野内忠宏専務理事が出席した。各氏が支部管内の公共・民間事業の現況や展望などを報告し、県内電設業界の課題等を確認した後、今後の協会事業・運営等について意見を交わした。

今後の事業を協議 正副会長総務 委が合同会議

当協会の正副会長と総務委員会は1月30日、福

島市の協会談話室で令和4年度第4回合同会議II写真IIを開いた。

Panasonic LEDリニューアルが、経営に効いた。 LEDシリーズ 一体型LEDベースライト コスト回収、約3年※ 蛍光灯と比べて最大約59%の省エネ※大幅なコスト削減に。 職種・用途にフィット 約8,000種のラインアップ。「1台・1列から」調光も可能。 業務を止めずに導入 無線調光タイプは、信号線の工事が不要で短工期・省施工。 iDシリーズ 一体型LEDベースライト

A Better Life, A Better World ※従来蛍光灯器具FSA42001F VFN9とiDシリーズ40形5200lmタイプ(直付XLX450DHNT LE9)との比較。新電力料金目安単価:25円/kWh(税込)[家電公正取引協議会が発出した「新電力料金目安単価27円/kWh(税込/一般家庭用)」から消費税相当額8%を抜いた金額で算出。]年間点灯時間3000時間、従来蛍光灯器具の交換費用(器具代・ランプ代)含む。 パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 福島電材営業所 〒963-8025 福島県郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

インターンシップ 感想文

県立小高産業技術高校
県立平工業高校

将来は電気工事の世界に

県立平工業高校 鈴木 瑠唯

先日のインターンシップでは、私達平工業高等学校電気工学科が大変お世話になりました。インターンシップをととても楽しみにしていたため、常にワクワクしていました。

1日目には風力発電の現場見学をさせていただきありがとうございました。実際に風力発電を組み立てている現場に行ったことがなかったため、とても貴重な体験となりました。

2日目は木造で建築されているクリニックなどを見学しました。実際に近い距離で見学することで滅多に見ることができない配線がどういふふうになっているのかがよく分かりました。細かい配線もあったので難しいなと感じました。

3日目は数量拾いを覚えました。住宅図面を利用してとても細かく行いました。初めてということもあったため、とても時間がかかってしまいました。もう少し早く終わらせたかったです。

今回のインターンシップを終えて、電気工事というものがより具体的に理解できたと思います。将来、電気工事の仕事に就くつもりであるため、基礎からしっかり学んでいきたいと思っています。

吉田様、稲坂様、平沢様、油座様、渡辺様、戸田様、3日間のインターンシップでは大変お世話になりました。ありがとうございました。この経験を生かしてこれからも頑張っていきたいです。

学び技術を覚えた3日間

県立平工業高校 大竹 遥人

今回は年末年始の忙しい貴重な時間を使い、僕達に様々な仕事を教えて下さる体験を3日間も行っていただけるとのことだったので、学ぶ姿勢をとることができ、楽しく作業することができたので良かった。

1日目はハイアンプとグランピング場と実際に現地に行き仕事内容を学ぶことができた。大型商業施設ということもあり、かなり大規模な装置を複数個見学させていただいた。難しい慎重に行わなければならない仕事だということを実感することができた。

午後は数十mのケーブル切断の作業をした。4人で協力して丁寧に作業をすることができた。また、警備の仕事も見学させていただき、たくさんの企業などの警備を受け持っていることを知り、大変さを知ることができた。

2日目は消防設備の見学、体験をした。身の回りにたくさんある火災報知器や誘導灯の点検をした。学校で何度か点検の様子を見たことがあったので、少しなじみのある仕事だった。詳しい仕組みを知り、とても楽しく作業することができたので良かった。また警報機の内部構

造や貯水ポンプのことについてもよく知ることができたので良かった。

最終日となる3日目は会社の中で図面作成や積算を行った。午前中に行った積算は思っていたよりも大変で、正確さを求められる長時間の仕事だったが、正確に照明器具の個数を出し、パソコンで行った見積もり作業を正確に、スムーズに行うことができた。午後に行った図面作成も午前の作業と同様に根気のいる作業だった。うまくペーストする位置に合わせる事が難しく大変な作業だったが、丁寧にすることができたので良かった。

この3日間を通して、様々なことを学び技術を習得することができた。仕事で教わった技術や大切なことを忘れずに今後活かすことができれば、より良い学校生活を送ることが出来ると思う。来年行われる電気工事士などの様々な資格試験、就職、進学活動に今回のインターンシップで学んだ多くのことを活用していきたいと思った。

体験を今後役に立てる

県立平工業高校 藤野 悠斗

今回、平工初のインターンシップということで何の情報もないまま会社に出社しましたが、出社前日はとても緊張して夜も寝られないぐらいでした。

初出社した初日は、会社とは何かや概要、ビデオ研修、ケーブルの圧着・切断などをさせていただきましたが、お話がとても面白く、耳に内容がスッと入ってきました。他にも「42Vは死にボルト」やケーブルの圧着・切断をする際の工具の使い比べなど貴重な体験をさせていただきました。

2日目では既に習ったエクセルの応用やこれから習うCADなどを分かりやすく教えてもらいました。私が作業でつまづいて分からなかった所は、岡部様が理解できるまで教えてくださり、とても有難く思いました。

3日目の最終日には、実際に電気工事で使う電線管を曲げる作業をしました。太さは22、25、28と太くしていき、それらをパイプベンダーで曲げていきました。最初は力さえあれば良いだろうと思っていましたが、想像以上に技術が必要だったのに加え、それを毎日行う作業の方々には尊敬の念を抱きました。

最後に、私たちに社会とは何か、会社とは何かそして社会に出る時に必要な能力を教えてくださいました。普段から電気系の職に就いている方とは話せないもので、いろいろなことを知れて、とてもためになりました。今回聞いた話や体験をふまえて、これからの人生設計に役立てていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

企業に対する考え変化

県立平工業高校 佐藤 伶

私は、今回のインターンシップで企業に対する考えが大きく変わりました。インターンシップを行う前は、企業は厳しく大変でいそがしいというイメージを持っていました。

そして、1日目の出社をするといったときは、会社の迷惑にならないように心がけていきたいと思ながら入社し、矢吹様のお話を聞き、企業内の案内と説明、安部

様による富士電機についてのお話が午前であり、午後は車で各場所を見てまわるといことを行いました。この日では植田電機についてよく学ぶことができ、植田電機は富士電機の特約店だということを知りました。

2日目では、車で下水道施設と平蔵塚ポンプ場に見学しに行きました。下水道施設では、どのように制御されているかをあけて見せていただき、下水道施設の回路図を見たときには複雑すぎてすごいと思いました。平蔵塚ポンプ場では、実際に電気工事の現場を見ることができ、すばやく的確に作業されていたのを見て、これから自分も頑張っていこうと思いました。

3日目では、実習を行い、CADによるパソコンでの回路図の作成とリレーシーケンス回路を組み理解することを行いました。パソコンは使い方をよく知ればできると思いましたが、実際に回路を組むとなると理解しているだけでなく、慣れていく必要があると感じました。

インターンシップ3日間を通して学べることは多く、仕事が大変だとは思いましたが、これから先、資格を取っていき私もやっていけるようになりたいと思えるようなインターンシップだったと思いました。そして、矢吹様、吉田様、安部様、山野様、大久保様、仙坂様、インターンシップの3日間では大変お世話になりました。植田電機様、本当にありがとうございました。

優れた技術に感動

県立小高産業技術高校 遠藤 悠晟

このインターンシップで経験したことは初めてのことばかりでした。

全ての元となるCAD製図や実際の現場の見学、腕が試される現場作業、電気工事士にはなくてはならない高所作業車の運転実習。実演したものに関しては、不慣れということもあり、最初は思うように進まず戸惑ってしまいました。それでも慣れていくにつれて滞りなく作業が進みました。

この経験した実施内容において職人の技を実感できました。それはとても素晴らしい技術であると3日間感動しておりました。

私はまだ技術など未熟ですが、今回のインターンシップを糧に自分自身もっと成長していきたいと思っています。3日間お世話になりました。ありがとうございました。

実際の仕事に触れ満足感

県立小高産業技術高校 角田 凱音

初日は授業で習った事や、教科書で見た工具や測定器を実際に使い、抵抗の測定やブレーカの確認を行ったので、経験になり、実際の現場を見ることができて良かったです。

2日目はJA小高へ行き、古くなった照明器の取り替え工事を手伝ったり、配電盤を見せてもらいました。配電盤は電気工事士試験でも勉強しましたが、実物を見ながら教えてもらえて良かったです。電柱工事では力仕事があり、少し疲れましたが、接地作業を近くで見ることができて良かったです。

3日目はCVTの端子の油圧・圧着をしました。線が太く固く、被覆をむくのが大変でしたが、教えてもらいきれいにむけました。あかりプランは自分好みの照明を見つけることができて大変良い経験になりました。

当協会は、電気保安の確保とエネルギーの合理的な使用を通じて、地域社会の発展に貢献します。エネルギー監視サービスと省エネに関するご相談なども承っております。

あんぜん、きつく、あんしん
東北電気保安協会

福島事業本部	福島市矢矧町1-22	☎(024)526-1311
福島事業所	福島市矢矧町1-22	☎(024)526-2111
原町事業所	南相馬市原町区上波佐原田432-1	☎(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町稲川原1	☎(024)932-6054
白河事業所	白河市十三原道3-51	☎(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間洞42-1	☎(0246)36-1177
会津事業所	会津若松市町北町大字上荒久田字村北147	☎(0242)32-3350

電気技術総合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

一般社団法人
東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレジエザ仙台ビル TEL(022)261-6015

福島県支部	福島市泉字清水田20-3	(024)502-3129
福島電気管理センター	伊達郡川俣町大字東福沢字坊ノ入45-2	(090)4886-2892
郡山電気管理センター	郡山市富久山町福原字沼下16-18	(090)1935-6169
会津電気管理センター	会津若松市南千石町4-29	(080)5225-2628
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町二丁目27	(090)8423-5650
白河電気管理センター	東白河郡塙町大字塙字材木町5-4	(070)2034-8391
いわき電気管理センター	いわき市平下神谷字宿50	(090)3756-2499

高品質で省エネ — LEDランプはレディオック

LEDiOC

岩崎電気株式会社

岩崎電気株式会社
新住所 〒963-8071 <http://www.iwasaki.co.jp>
郡山市富久山町久保田字伊賀河原34 HDビル 伊賀河原2階
TEL(024)900-9002 FAX(024)900-9001

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

株式会社 トベ

宮城県岩沼市押分字南谷地86-5
TEL(0223)25-6701

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3-12-3	☎(024)553-8551(代)
■福島西営業所	福島市大森字街道下57-1	☎(024)544-6228(代)
■郡山営業所	郡山市安積4-277	☎(024)937-2462(代)
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	☎(0244)23-6106(代)
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	☎(0244)35-6350(代)
■いわき営業所	いわき市平塩字出口43-5	☎(0246)76-1055(代)
■いわき南営業所	いわき市鹿島町御代字大一田1-1	☎(0246)76-1055(代)

**新明電材は
電設資材の総合商社です**

「どこよりも安く、早く、確実に」
確かな商品供給力でお客様をバックアップします

福島県内営業所	いわき営業所 TEL.0246-72-1007
	郡山営業所 TEL.024-962-7015

電設資材のベストパートナー
新明電材株式会社

一賛助会員募集一

(一社)福島県電設業協会は、顧客に高性能・高品質・高効率な設備のトータルシステムを適正価格で提供することで新しいニーズを掘り起こします。

【賛助会員の特典】

- ・機関紙をはじめ各種広報資料をお送りします
- ・名刺等の肩書きに賛助会員の表示ができます

※詳しくはホームページをご覧ください

福島支部

notte
tellata

3月に宮城へスケート
ショーを観賞に行つてま
いりました。

世界で活躍する8人の
ショーを見て感動し涙が
溢れる感覚に襲われ、コ
ロナパンデミックにより
忘れかけていた高揚感を
味わうことができ、最高
のストレス解消となりま
した。皆さんも好きな舞
台、ショーなどを観賞し
に行くことで、もやもや
した気持ちを晴らす時期
ではないかと思ひます。

タイトルの「notte
steilata」は
イタリア語で「満天の星
空」という意味。羽生結弦
さんが3・11の東日本大
震災の夜、避難所に向か
う際に崩れた建物、停電
で真っ暗な故郷を見て絶
望的な気持ちになり、ふ
と空を見上げたとき、停
電の暗闇の中だからこそ
見えた美しい星空に希望
の光を感じ、大震災から
12年を経て、あの日の星
空のように被災地から希
望を発信しようというアイ
スを開催したそうであ
す。

白河支部

経営者の本音

今年末に発売された
「ゆるい職場」という本を
読んでいます。そこには
仕事が終わるまで辞めた
い。そう悩む若者が多い
と書かれていました。ゆ
とり世代やZ世代など、
経営者としては柔軟に対
応しているつもりでも
意外と振り回されて、本
質を見失いがちな時があ
るのかなどと感じがなが
ら読み進めています。

この電設新聞の投稿
も、父親の代からお世話
になっていますが、お堅
いセンスある文章が日常
的な話題に変化し、私自
身も経営者として時代の
変化を感じています。

相双支部

人間ドック

2年に一度、PET健
診、ドック健診を受けて
います。今年がその年
だったため受診してしま
した。相変わらず脳ドク
グは狭い機材に頭を入れ
るため圧迫感がありま
す。PET健診も造影剤
を入れられ、体に回るの
に時間がかかり待ってい
るのが嫌です。

大腸検査も受けていま
すが、初めての検査の時
に男女10人くらいが待合
室に置かれ、2時間を目
安に下剤をゆっくり飲
み、出るのを待っている
のですが早い人、遅い人
がいます。私もなかなか
（光洋電設(株) 荒明）。

編集後記

3月に入ったとある屋
下がり、東京都港区に
ある国立新美術館で
「ルーヴル美術館展 愛
を描くを鑑賞した。コロ
ナ禍で都内の美術館やコ
ンサートホールなど文化
芸術鑑賞の機会も失われ
て残念な状況でありまし
たね。

20年前にフランス・パ
リのルーヴル美術館に行
く機会に巡り合わせ、収
蔵展のあまりにも素晴ら
しさと多さに、3日間
ルーヴル美術館の虜に
なったことを忘れられず
訪れてみた。

会員の声

郡山支部

VRと向き合う

VR(バーチャルリア
リティ)とは、コン
ピューターによって創り
出された仮想的な空間な
どを現実であるかよう
に疑似体験できる仕組み
です。

VRの分野であるテ
レヴィジスタンス(遠隔
臨場感)とは、遠隔地に
ある物あるいは人が、あ
たかも近くにあるかのよ
うに感じながら、操作な
どをリアルタイムに行え
る技術のことです。

土木業界では、オペ
レーターが事務所の操作
室から遠隔地にあるパツ
クホーを、実際にその場

いわき支部

リハビリ

3年間のコロナ自粛も
ようやく落ち着きを取り
戻し、日常に戻りつつあ
るようで安心だ。3年の
月日は生活そのものと自
分自身の日常そのものが
失われていて、最近はず
分のルーティーンを取り
戻すことに必死ですね。

体力的には足腰の衰え
が顕著で、毎日リハビリ
を汗だくで頑張ってい
る。常々、心や身体がた
いとど運動することを
心がけてきたが、コロナ
禍ほど運動、汗が必須で
すね。

18代続いた三浦家の家
訓に「身体が健康であれ

会津支部

我が母校

我が母校、県立会津工
業高校は創立120周年
を迎えました。

2年前の4月に電気科
と情報技術科が統合さ
れ、新しく電気情報科と
なりました。今年3月の
卒業生が創立より続いた
電気科として最後の生徒
となり、先日閉科式が執
り行われたとのことであ
す。何だか寂しく、時代の
流れを感じます。

新聞・ニュースでは異
次元の少子化対策がとり
ざたされています。加速
度的な超高齢化社会と人
口減少。とりわけ教育現
場の変化は、我々業界へ
電気商会・森口 真人）。



機能アップ
Superラインチェツカ
TLC-C形
株式会社 戸上電機製作所 東北オフィス
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

配分電盤、制御盤メーカー ISO9001取得 ISO14001取得
株式会社 ワイム
福島営業所 / 〒960-8165 福島市吉倉字吉田119-1
TEL.024-546-1321 FAX.024-546-1322

TOSHIBA
照明器具・LED光源・配線器具
東芝ライテック株式会社
郡山営業所
郡山市桑野4-2-2 TEL: 024 (922)-5511
http://www.tlt.co.jp/

東和電機工業株式会社
受配電制御システム設計製造
中央監視システム設計
各種プラント制御システム
空調・衛生計装制御盤の設計製造
新エネルギーシステム関連事業
コ・ジェネレーションシステム関連事業
認定キュービクル・耐熱形分電盤設計製造
郡山営業所 〒963-8025 郡山市桑野3-19-8
コーポ山1F TEL.024-933-3299 Fax024-934-5178

ご活用ください、本紙 Web
www.fk-news.co.jp
購読会員無料ID発行中
福島建設工業新聞社
お問い合わせは TEL 024-534-7456

配電盤 制御システムメーカー
古川電気工業株式会社
郡山支店
支店長 小野寺 優
福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861
本社 / 仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場 / 仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所 / 北日本・仙台・東京・横浜・関西・栃木・名古屋